

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月6日

上場会社名 日精樹脂工業株式会社  
 コード番号 6293 URL <http://www.nisseiushi.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

(氏名) 依田 穂積  
 (氏名) 宮島 和雄

TEL 0268-82-3000

上場取引所 東 名

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	22,512	—	△1,196	—	△1,550	—	△1,637	—
20年3月期第3四半期	30,383	0.4	719	△26.4	701	△25.7	118	△81.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△77.56	—
20年3月期第3四半期	5.54	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	39,584	23,551	23,551	26,139	59.2	1,118.67
20年3月期	45,668	26,139	26,139	26,139	56.9	1,212.39

(参考)自己資本 21年3月期第3四半期 23,436百万円 20年3月期 26,006百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
21年3月期	—	4.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	4.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 有

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,200	△29.6	△2,400	—	△2,850	—	△2,950	—	△139.70

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他 をご覧下さい。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他 をご覧下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	22,272,000株	20年3月期	22,272,000株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	1,321,414株	20年3月期	821,414株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	21,117,253株	20年3月期第3四半期	21,450,586株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用に当たっての注意事項については、2ページの「定性的情報・財務諸表等 3.連結業績に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国に端を発した金融不安の影響が実態経済に波及する中で、企業の設備投資マインドが減退し、また輸出も低迷するなど、世界的な景気悪化が鮮明になってまいりました。

当社グループの属する射出成形機業界におきましては、IT・電子部品業界向けの需要が大きく減少したほか、自動車部品業界向けの需要も悪化の一途をたどるなど、国内外ともに、極めて厳しい受注環境が続いております。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、主力である射出成形機売上高が内外とも大きく減少し、これにより売上高合計は225億1千2百万円（前年同期比25.9%減）となりました。

利益面につきましては、アジア地域における価格競争が続く中で、比較的採算性の高い市場である北米地域および国内の売上高が大幅に減少したことにより、人件費などの固定費相当分をカバーすることができず、当第3四半期連結累計期間は営業損失11億9千6百万円（前年同期実績は営業利益7億1千9百万円）を計上いたしました。また、円高の急激な進行に伴う為替差損5億3千7百万円の計上等により、経常損失は15億5千万円（前年同期実績は経常利益7億1百万円）となり、これらの結果、税金等調整後の第3四半期累計純損失は16億3千7百万円（前年同期実績は純利益1億1千8百万円）となったものであります。

※「連結経営成績に関する定性的情報」における前年同期の金額及び増減率は参考値として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産・負債および純資産等の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末比60億8千4百万円減少し、395億8千4百万円となりました。主たる減少要因は、売上高の減少に伴う受取手形及び売掛金の減少46億5百万円のほか、現金及び預金の減少3億5千6百万円および未収入金の減少11億8千2百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末比34億9千6百万円減少し、160億3千2百万円となりました。主たる減少要因は、仕入債務の減少に伴う支払手形及び買掛金の減少42億9千万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末比25億8千7百万円減少し、235億5千1百万円となりました。主たる減少要因は、利益剰余金の減少18億4千2百万円であります。

(2) 連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末比3億5千6百万円減少し、55億8千1百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは5億2千6百万円となりました。このうち、キャッシュ・インの主たる要因は売上債権の減少額39億3千1百万円および減価償却費6億7千9百万円であり、キャッシュ・アウトの主たる要因は税金等調整前四半期純損失15億6千9百万円および仕入債務の減少額21億2千7百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは△7億1千7百万円となりました。キャッシュ・アウトの主たる要因は、有形固定資産の取得による支出3億3千3百万円および無形固定資産の取得による支出3億9千7百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは5千5百万円となりました。キャッシュ・インの主たる要因は、短期借入金の純増額4億8千2百万円であり、キャッシュ・アウトの主たる要因は、配当金の支払額2億1千2百万円および自己株式の取得による支出2億1千4百万円であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

世界経済の悪化に伴い、自動車業界や電子部品業界など、当社グループの主たる需要先業種の設備投資が急速に減少しております。こうした経営環境の変化を受け、足元の受注動向および今後の売上予測を見直した結果、通期業績を前回公表値から下方修正するとともに、期末配当につきましても誠に遺憾ながら無配とさせていただくことといたしました。

なお、業績予想および配当予想の修正内容につきましては、本日（平成21年2月6日付）別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」ならびに「平成21年3月期 配当予想の修正に関するお知らせ」をそれぞれご参照願います。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
重要性が乏しいため、記載を省略しております。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
  - ①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
  - ②「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、連結決算上必要な修正を行っております。  
これに伴う営業損失、経常損失および税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,581	5,938
受取手形及び売掛金	11,373	15,978
商品及び製品	5,529	5,580
仕掛品	1,132	1,356
原材料及び貯蔵品	2,913	2,776
その他	1,712	2,844
貸倒引当金	△161	△212
流動資産合計	28,081	34,261
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,195	3,355
機械装置及び運搬具(純額)	1,257	1,486
土地	4,375	4,391
その他(純額)	772	336
有形固定資産合計	9,601	9,569
無形固定資産	1,091	760
投資その他の資産		
投資有価証券	690	941
その他	173	187
貸倒引当金	△53	△52
投資その他の資産合計	810	1,076
固定資産合計	11,503	11,406
資産合計	39,584	45,668
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,051	12,342
短期借入金	2,658	2,234
未払法人税等	46	78
賞与引当金	105	361
引当金	153	185
その他	1,528	817
流動負債合計	12,542	16,019
固定負債		
退職給付引当金	2,924	2,867
引当金	211	231
その他	353	410
固定負債合計	3,489	3,509
負債合計	16,032	19,528

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,362	5,362
資本剰余金	5,488	5,488
利益剰余金	13,910	15,752
自己株式	△824	△609
株主資本合計	23,937	25,994
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	74	201
為替換算調整勘定	△575	△189
評価・換算差額等合計	△500	12
少数株主持分	115	133
純資産合計	23,551	26,139
負債純資産合計	39,584	45,668

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	22,512
売上原価	18,086
売上総利益	4,425
販売費及び一般管理費	5,621
営業損失(△)	△1,196
営業外収益	
受取利息	45
受取配当金	14
その他	162
営業外収益合計	222
営業外費用	
支払利息	30
為替差損	537
その他	9
営業外費用合計	577
経常損失(△)	△1,550
特別利益	
貸倒引当金戻入額	20
特別利益合計	20
特別損失	
固定資産廃棄損	4
投資有価証券売却損	2
投資有価証券評価損	32
特別損失合計	39
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,569
法人税等	60
少数株主利益	7
四半期純損失(△)	△1,637

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△1,569
減価償却費	679
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△29
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△256
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	57
受取利息及び受取配当金	△60
支払利息	30
売上債権の増減額 (△は増加)	3,931
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△140
未収消費税等の増減額 (△は増加)	150
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,127
その他	△79
小計	585
利息及び配当金の受取額	65
利息の支払額	△31
法人税等の支払額	△93
営業活動によるキャッシュ・フロー	526
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△333
無形固定資産の取得による支出	△397
その他	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△717
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	482
配当金の支払額	△212
自己株式の取得による支出	△214
財務活動によるキャッシュ・フロー	55
現金及び現金同等物に係る換算差額	△220
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△356
現金及び現金同等物の期首残高	5,938
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,581

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当社及び連結子会社の事業は、射出成形機及びその関連機器の製造販売の単一事業であります。従いまして、開示の対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

(単位：百万円)

	日本	アメリカ地域	アジア地域	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	13,866	3,706	4,939	22,512	—	22,512
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	6,698	2	0	6,701	(6,701)	—
合計	20,564	3,709	4,940	29,213	(6,701)	22,512
営業費用	21,857	3,737	5,005	30,600	(6,892)	23,708
営業利益又は営業損失(△)	△1,292	△28	△65	△1,386	190	△1,196

(注) 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度による。

各区分に属する主な国又は地域……………アメリカ地域 アメリカ、メキシコ、カナダ

アジア地域 シンガポール、マレーシア、タイ、中国、台湾、香港

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

当社は、平成20年7月10日開催の取締役会決議に基づき、平成20年7月11日に自己株式の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結会計期間において、自己株式が214百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において824百万円となっております。



## 「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

## (1) (要約) 前四半期連結損益計算書

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
	金 額 (百万円)
I 売上高	30,383
II 売上原価	23,383
売上総利益	6,999
III 販売費及び一般管理費	6,279
営業利益	719
IV 営業外収益	
1. 受取利息	72
2. その他	251
営業外収益合計	324
V 営業外費用	
1. 支払利息	39
2. たな卸資産処分損	82
3. たな卸資産評価損	56
4. 為替差損	156
4. その他	5
営業外費用合計	341
経常利益	701
VI 特別利益	
1. 投資有価証券売却益	11
特別利益合計	11
VII 特別損失	
1. 固定資産廃棄損	35
特別損失合計	35
税金等調整前四半期純利益	676
税金費用	537
少数株主利益	20
四半期純利益	118

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区 分	金 額 (百万円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	676
減価償却費	634
固定資産廃棄損	35
投資有価証券売却益	△11
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△76
賞与引当金の増減額(△は減少)	△132
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△98
受取利息及び受取配当金	△89
支払利息	39
売上債権の増減額(△は増加)	△1,429
たな卸資産の増減額(△は増加)	△85
仕入債務の減少額	1,574
その他	235
小計	1,274
利息及び配当金の受取額	75
利息の支払額	△40
法人税等の支払額	△203
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,106
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△598
有形固定資産の売却による収入	43
無形固定資産の取得による支出	△403
投資有価証券の売却による収入	111
その他	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△857
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△95
長期借入金の返済による支出	△5
配当金の支払額	△214
財務活動によるキャッシュ・フロー	△314
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	△16
<b>V 現金及び現金同等物の増減額</b>	△82
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	6,651
<b>VII 現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	6,569

## (3)セグメント情報

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

(単位：百万円)

	日本	アメリカ地域	アジア地域	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	18,778	5,588	6,016	30,383	—	30,383
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,130	28	1	9,161	(9,161)	—
合計	27,909	5,616	6,018	39,544	(9,161)	30,383
営業費用	27,509	5,379	6,060	38,949	(9,285)	29,663
営業利益	400	237	△42	595	124	719

(注) 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度による。

各区分に属する主な国又は地域……………アメリカ地域 アメリカ、メキシコ、カナダ

アジア地域 シンガポール、マレーシア、タイ、中国、台湾、香港